

## 第13章 第4次愛知県環境基本計画の進捗状況

愛知県環境基本計画は、愛知県環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定するもので、県の環境政策の指針となるものです。

県では1997年に最初の計画を策定し、その後、2002年に第2次計画、2008年に第3次計画というように、おおむね5年ごとに改定を行い、施策の充実強化を図ってきました。

第3次計画の策定から5年余りが経過し、人口減少・超高齢社会の進行、地球環境問題に関する国際的な枠組の構築、東日本大震災による影響など、本県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、的確な対応が求められています。また、地域的な環境問題が依然として残されていることから、一層の改善対策を講じていくことが必要です。

こうした様々な状況を踏まえ、持続可能な社会の形成に向けた取組を一層進めるため、2014年5月に「第4次愛知県環境基本計画」を策定しました。

### 1 計画の期間

2030年における愛知の環境のあるべき姿を環境保全の長期目標とした上で、その実現に向けて2020年度までに取り組むべき施策の方向を提示します。

### 2 計画の目標

「環境と経済の調和のとれたあいち」、「安全で快適に暮らせるあいち」、「県民みんなが行動するあいち」の3つのあいちを基調とした地域づくりを進めることで、2030年に向けた本計画の目標として、「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』」の実現を目指します。

### 3 2020年度までの環境施策の方向

上述の3つのあいちについて、「安全・安心の確保」、「社会の低炭素化」、「自然との共生」及び「資源循環」に向けた4つの取組分野ごとに方向性を示し、具体的な取組を推進します。

総合的な施策推進に向けて、持続可能な未来のあいちの担い手育成「人づくり」を推進します。

### 4 計画の推進

県民、事業者、NPO、行政等の各主体と連携、協働しながら、計画の目標実現に向け、各種施策・取組を推進します。

## 【計画の目標】 県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』

### 「3つのあいち」づくりを通して目標を実現

#### 目標の実現に向けた「3つのあいち」づくり

#### 環境と経済の調和のとれたあいち

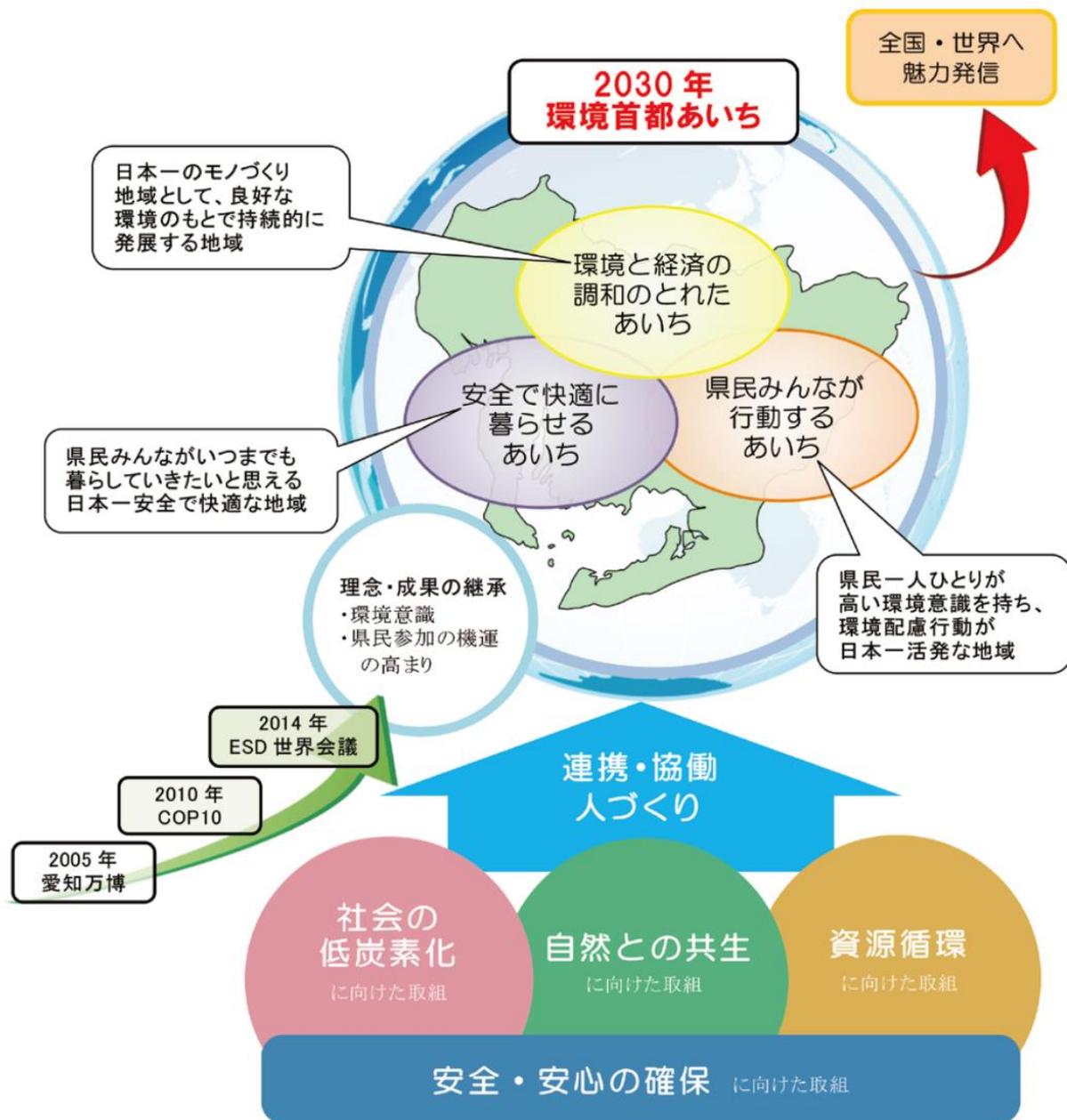
我が国の経済をけん引する日本一のモノづくり地域として、あらゆる経済・産業活動において常に環境に配慮した取組が積極的に実施され、良好な環境のもとで持続的に発展する地域。

#### 安全で快適に暮らせるあいち

公害のない安全な生活空間が確保されるとともに、日常生活の中で安らぎや自然の豊かさを実感することができ、すべての県民がいつまでも暮らしていきたいと思える、日本一安全で快適な地域。

#### 県民みんなが行動するあいち

県民一人ひとりが環境に対する高い意識を持ち、それぞれの立場で、環境配慮行動に日本一活発に取り組む地域。



2030年の「環境首都あいち」では・・・

- ◆ 暮らし・地域・経済活動などあらゆる場面において、環境に配慮した行動が、意識しなくても自然になされています。
- ◆ その結果、安全で快適な暮らしが確保されるとともに、環境と経済が高い水準で良好な状態に保たれた、魅力のある地域となっています。
- ◆ その魅力を、国内のみならず世界へと発信することにより、より多くの人や企業をこの地域へとひきつけます。

目標の実現に向けた環境施策の展開イメージ

第4次愛知県環境基本計画 主要目標の進捗状況（2018年度）

●安全・安心の確保

項目 (主な非達成項目)			進捗状況		目標
			計画策定時 ※2	現状	
環境基準の 達成状況 ※1	大気汚染	光化学オキシ ダント	達成率 0% (2012年度)	達成率 0% (2018年度)	全項目及び 全地点での達成
		微小粒子状 物質	達成率 32% (2012年度)	達成率 98% (2018年度)	
	公共用水域 の水質汚濁	河川のBOD	達成率 98% (2012年度)	達成率 98% (2018年度)	
		海域のCOD	達成率 55% (2012年度)	達成率 55% (2018年度)	
		海域の全窒 素	達成率 83% (2012年度)	達成率 83% (2018年度)	
		海域の全燐	達成率 50% (2012年度)	達成率 100% (2018年度)	
	ダイオキシ ン類	公共用水域 の水質	達成率 96% (2012年度)	達成率 90% (2018年度)	

●社会の低炭素化

項目	進捗状況		目標
	計画策定時 ※2	現状	
次世代自動車等先進エコカーの県内普及台数	60万台 (2011年度末)	187万台 (2017年度末)	200万台 (2020年度末)
次世代自動車充電インフラの整備状況	661基 (2012年度末)	1,901基 (2018年度末)	2,000基 ※3 (2020年度末)

●自然との共生

項目		進捗状況		目標
		計画策定時 ※2	現状	
優れた自然環境を有 する地域の面積等	①自然環境保全 地域の指定	①15か所 (2012年度)	①15か所 (2018年度)	①18か所 (2020年度) ※4
	②鳥獣保護区 の面積	②25,555ha (2012年度)	②▲6,059ha (2018年度)	②現状維持
	③生息地等保護 区の指定	③2か所 (2012年度)	③4か所 (2018年度)	③4か所 (2016年度) ※5
指定希少野生動植物種の指定		11種 (2012年度)	18種 (2018年度)	17種 (2020年度) ※4
県民の「生物多様性」という言葉の意味 の認識状況		46.7% (2012年度)	41.9% (2016年度)	75% (2020年度)

## ●資源循環

項目		進捗状況		目標 ※6
		計画策定時 ※2	現状	
廃棄物の排出量 ※7	一般廃棄物	255.1万トン (2014年度)	252.2万トン (2017年度)	240.4万トン (2021年度)
	産業廃棄物	1,524.9万トン (2014年度)	1,485.0万トン (2017年度)	1,570.5万トン (2021年度)
廃棄物の再生利用率 ※7	一般廃棄物	22.3% (2014年度)	21.7% (2017年度)	約23% (2021年度)
	産業廃棄物	70.4% (2014年度)	68.8% (2017年度)	約74% (2021年度)
廃棄物の最終処分量	一般廃棄物	21.3万トン (2014年度)	20.0万トン (2017年度)	19.8万トン (2021年度)
	産業廃棄物	89.6万トン (2014年度)	82.7万トン (2017年度)	82.9万トン (2021年度)

※1 環境基本法等により規定される環境基準を指す。

※2 各数値目標を設定した際の現況数値を指す。

※3 2016年度に2020年度末の目標値を1,600基から2,000基へ上方修正。

※4 2017年度に目標年次を2016年度から2020年度に見直し。

※5 2017年度以降の目標は設定していない。

※6 2016年度に廃棄物処理計画(2017年度～2021年度)において新たに設定した目標値。

※7 排出量＝再生利用量＋中間処理による減量＋最終処分量

再生利用率＝再生利用量/排出量

## 1 SDGs 未来都市の選定

本県は、2019年7月1日に、内閣府より「SDGs 未来都市（※）」として選定され、内閣総理大臣から「SDGs 未来都市」選定証を授与されました。

※ SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として内閣府が選定し、支援するものです。

全国で、2018年度は29自治体（県内は、豊田市）、2019年度は31自治体（県内は、愛知県、名古屋市、豊橋市）が選定されました。



「SDGs 未来都市」選定証授与式 於：総理大臣官邸（右から3番目が愛知県知事）

## 2 本県の取組

### （1）「愛知県 SDGs 推進本部」の設置

SDGs 未来都市として、SDGs の達成に向けて、全庁を挙げて取組を推進するとともに、SDGs の理念を具現化する本県の取組の進行管理などを行うため、知事を本部長とする庁内組織「愛知県 SDGs 推進本部」を2019年7月16日に設置しました。

### （2）「愛知県 SDGs 未来都市計画」の策定

SDGs 未来都市に選定されたことを受け、2019年8月30日に「愛知県 SDGs 未来都市計画」（計画期間：2019～2021年度の3年間）を策定しました。

計画では、SDGs の達成期限である2030年の本県のあるべき姿や、SDGs の達成に向けて、今後3年間に先導的に進める取組（次表）を記載するとともに、関連するSDGs の目標や重要業績評価指標（KPI）等を設定しています。

側面	取組内容
経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近未来技術等の社会実装の推進</li> <li>○ スタートアップと既存企業の連携によるイノベーションの創出</li> <li>○ 自動車分野における新事業展開支援</li> <li>○ 「ものづくり×AI・IoT」をテーマとした大学対抗ハッカソンの開催</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若者、女性、高齢者、障害者、外国人の活躍促進</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進</li> <li>○ EV・PHV・FCVの普及促進</li> <li>○ 自然との共生に向けた取組</li> <li>○ 循環型社会に向けた取組</li> <li>○ 行動する「人づくり」</li> </ul>
<p>特に注力する先導的取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「愛知目標」達成に向け先導した「あいち方式」の発展・確立プロジェクト</li> </ul> <p>2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で採択された「愛知目標」の達成に向けて、全国・世界に先駆けて取り組んできた生物多様性に係る「あいち方式」の取組を発展・確立させ、ユース（学生）を核とした多様な主体との連携による生態系の創造・再生・保全に取り組む事業</p>	

**【参考】SDGsについて**

2015年9月に国連サミットにおいて、「持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)」が全会一致で採択されました。2030アジェンダの中に、先進国を含む国際社会全体の開発目標として、SDGsの17のゴール(目標)と169のターゲットが掲げられました。

**持続可能な開発のための2030アジェンダ(2030アジェンダ)**

開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済、社会及び環境の三側面を、不可分なものとして調和させる統合的取組として作成

**持続可能な開発目標(SDGs)**

**2030年を期限とする包括的な17の目標**

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| ① 貧困をなくそう             | ② 飢餓をゼロに        |
| ③ すべての人に健康と福祉を        | ④ 質の高い教育をみんなに   |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう       | ⑥ 安全な水とトイレを世界中に |
| ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | ⑧ 働きがいも経済成長も    |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう     | ⑩ 人や国の不平等をなくそう  |
| ⑪ 住み続けられるまちづくりを       | ⑫ つくる責任、つかう責任   |
| ⑬ 気候変動に具体的な対策を        | ⑭ 海の豊かさを守ろう     |
| ⑮ 陸の豊かさを守ろう           | ⑯ 平和と公正をすべての人に  |
| ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう   |                 |

**<17の目標のアイコン>**

